新青年 三月號 目次

早春カメラ

松山虔三
春は踊りのテムポで……（二）
こがれるキリン……（四）
外人墓地……（六）
ボールと子守達……（九）
溫室と飛行機……（一〇）
猿と山羊……（一三）
南の故郷は遠い海の上……（一四）
哲學者の夢……（一六）
アホラ・シー（漫畫の頁）……（一七）

読切中篇 人間（にんげん）腸詰（ソーセージ）…夢野久作（三四）

深夜の市長……海野十三（六〇）
くノ一葉子……泉谷彦（九四）
樂天公子……獅子文六（一三二）
人生の阿呆……木々高太郎（一五〇）
四つの眼……森下雨村（一七四）
山林王……國枝史郎（八四）
三銃士……角田喜久雄（一一〇）
いろは義賊……土師清二（一四〇）
この道は暗闇……片岡貢（二二四）

珍商賣立聽實況放送 アナウンサー 片桐々春 テレヴィジョン 横山隆一（一九三）

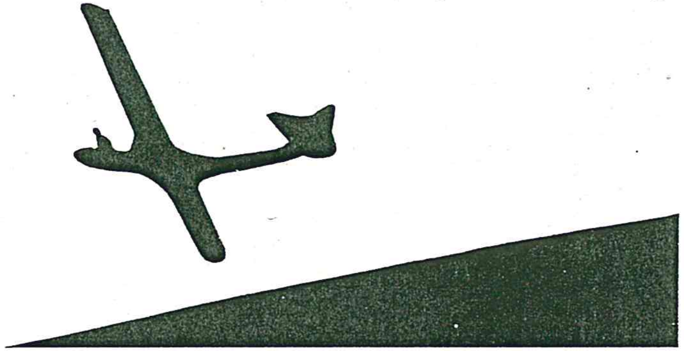
蕃人奇習祕密公開……三好武二（二三〇）
珍研究科學者傳……川端勇男（二三四）
サムライとヒットラー……黒田禮二（二三二）

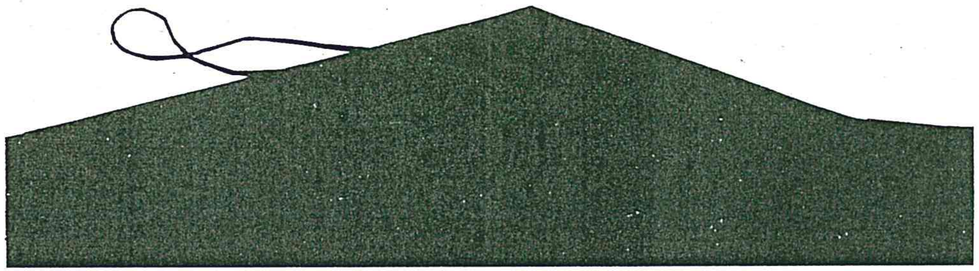
職業戦線異状あり

鳩の仇討……鷲宮文彦（三〇九）
新聞社入社試驗……大山佳秀（三一二）
滿蒙人生案内……辰野九紫（三一五）
オフィスの異彩……南美貴子（三一八）
天下の三菱……中野寛（三二二）
マネキン選手……丸山吉助（三三五）

スポーツ

陸上競技縱横談……繩田尚門（二九四）
日本とオリムピック……駒場太郎（三〇二）
空は晴れたり……龍田峻次（三〇六）
阿呆宮一千一夜譚……乾信一郎（一八八）
ニユースレビユー……ダル・ダルマチヤ（二一八）
すりいもんきい……（二二八）
海外問答……（二六六）
ヴォガンヴォグ……ミス・ハラ（二六九）
オリムピック……（二九三）
スポーツガイド……ミ・キ・キ（二九四）
ぺーぱーないふ……胡鐵梅（三〇一）
アスファルト……（三二八）
阿呆宮……（三三三）





MARRY THE GIRL……エドワード・ホープ（二〇七）
波斯猫事件……アール・S・ガードナー（二八八）
南米移住と貿易相談……田原春次（二六六）

・縮刷圖書館・

太ッチョ萬才……マドモアゼル誌（三五二）
スキーは何故重い？……旅行界誌（三五四）
毒瓦斯樂觀論……サイエンティフィック・アメリカン誌（三五六）
頓死講義……犯罪學雜誌（三五八）
愛煙家インターヴュー……デイ・チッヘ誌（三六〇）
白堊館の秘書孃……マガヂーン誌（三六三）
死は不可避か？……ナッツール・ウイッセンシャフト誌（三六六）
廣西田舍の大食會……東方雜誌（三六八）
川柳の支那輸出……留東學報（三七〇）
學生運動と救國の道……新聞報（三七一）
さかさ受話器……（連續短篇探偵小說）……W・A・ダアリントン（三三六）

映畫

映畫に於ける戀愛描寫……寒寺鷄太郎（二八〇）
三階席……（二七八）
春の映畫案内……W・W・W（二八五）
戰爭殺了・贏了（これが戰爭だ・第三回）……武藤貞一（二〇八）

當世小型ギャング集

狆を拾ふ女……奥村五十嵐（二四六）
入院信用狀……廣田勇（二四七）
鶯藝妓御用心……南右一郎（二四八）
看板娘盥廻し……細谷裕（二四九）
ハチ公の文鎭……北村清一（二五〇）
銀と死んだ男……岡成志（二五一）
悲しみの航海……古川元吉（二五二）
赤い派出婦……宇野公平（二五三）
麗人も亦つらし……友田義一（二五四）
どん底の女……吉岡廣（二五五）
覆面の繃帯……大田五郎（二五六）
恰好の品……廣瀬敬二（二五七）
坊主は曲者……島原茂（二五八）
舌先三寸の辯……目黒五郎（二五九）
食器が揃ふ話……佐々木五郎（二六〇）
夏は海邊で……川瀬順一（二六一）
馬券と一本の針……北川清（二六二）
遊興費かせぎ……雨石三吾（二六三）
桃色の仇夢……奥田等（二六四）
佛は知らぬ……北一夫（二六五）
テンプルちゃん自叙傳……シャリー・テンプル（二七四）
表紙……松野一夫